

# 陽の里



社会福祉法人 新生会  
総合ケアセンター サンビレッジ  
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地  
TEL (0585) 45-5545(代)  
URL <https://www.sun-village.jp/>



## No.152

### テーマ 留学生から介護福祉士へ



『社会福祉法人新生会47期生・サンビレッジ新生苑噴水前にて』

### 初めての留学生を送り出して



サンビレッジ国際医療福祉専門学校

校長 小林 月子

この3月に8名の若者が留学生第1期生として本校を巣立ちました。自らの希望と家族の期待を背負って来日し、介護福祉学科で2年間の勉強を修了し、この4月から晴れて全員が介護の現場で働き始めました。うち6名は新生会、2名は飛騨市の特養で。

4月初め、さっそく飛騨市役所の方から2人のネパール人女性の働きぶりについて嬉しいご報告を頂きました。「即戦力として非常に優秀で、違和感なく溶け込んで仕事をされている」と。続けて「サンビ校からおいでになった皆さんが、とうとう現実に飛騨市の福祉・介護現場を助けて頂いていることを実感し、感慨ひとしお」と。私もまったく同感でした。

考えてみれば、私たちがこの2年間、学生と関わって得たキーワードは「連携」だと思えます。現場との連携についていえば、留学生は法人の施設で実習とアルバイトでみっちり介護を経験し、毎月の「学生共有会議」などで情報を共有しました。また、学校内の連携の一例をあげれば、生活全般の支援という点で事務スタッフの役割は極めて重要でした。住居・アルバイト・在留カードの更新・税金や社会保険料支払い等についてスタッフの厳しくも温かいフォローなしには教育活動は成り立ちませんでした。

今年は連携がこれまで以上に力を発揮し、学生達は、落ち着いた環境の中で勉学に励むようになっていきます。

# 留学生から介護福祉士へ、新たな夢に向かつて

サンビレッジほづみ駅前介護職員

ミヤツ テツ タアー

私の目標は利用者に安心と楽しみを提供することです。目標を達成するため、利用者の立場から考えて安心できる方法をエルダーと先輩方から学びたいと思います。利用者のことを尊重し利用者の幸せを第一に考えて介護施設で働いていきます。

まずは日本で働き、介護の知識と技術を身につけてそれからミヤンマーと世界にも介護のことを広げていきます。

私の夢ははずれミヤンマーで介護の施設を作ることです。一人一人の利用者により良い介護を提供することは私の責務だと思っておりますので、今まで以上にこれからも頑張っていきます。

※新生会におけるエルダーとは「通年を通じた育成担当の先輩」を指します。

タアーさんのエルダー

竹中 奈々

これから多くの人と出会い沢山の経験をされると思います。時には失敗して自分の不甲斐なさや悔しい思いをするかもしれませんが、そこには自分を成長させてくれる学びがあり周りには支えてくれる心強い仲間もいます。

今見える景色を楽しみながら焦らず慌てず丁寧と一緒に考え歩んでいきましょう。



47期生タアーさん・エルダー竹中さん

サンビレッジ瑞穂介護職員

アリフ アクバル ラフ サンジャニ

私は看護師を目指すために日本へ来ました。日本語学校で語学を学びながらアルバイトを通じて、初めて「介護」の世界を知りました。

初めは言葉が分からず大変でしたが、利用者の笑顔や、「ありがとう」の言葉で大変さや疲れも忘れ、充実した日々を過ごすことが出来ました。

その経験からより身近で生活を支える、介護福祉士を目指そうと考えました。

まずはサンビレッジの介護福祉学科で知識と技術を学び、国家試験に挑みました。

結果は介護福祉士合格で目標を成し遂げました。

今後様々な課題が出てくると思いますが、学んだことを生かして介護福祉士として利用者の生活を支援したいと思います。

アリフさんのエルダー

小野 沢 達也

新生会への入社、そして介護福祉士合格おめでとうございます。人のために介護を行う姿勢と異国で労働する勇気と学ぼうとされる強い意志に私もアリフさんから、学ばせていただいています。

今後もお互いに知恵を出し合い、切磋琢磨し介護の担い手として共に歩んでいきましょう。頑張ってください。



エルダー小野沢さん・47期生アリフさん

# 「しんせい語録」の読み解き

新生グループには日めくりカレンダー「しんせい語録」があります。語録には介護現場で感じたことや学んだことへのヒントが掲載されています。



## 「説得」より「納得」

(株)新生メディカル大垣営業所

南ステーション 梶 井 育 子

Aさんは脳梗塞後遺症で車椅子生活となり、週の半分はショートステイを利用されてきました。体調に不安がある奥様の介護負担を軽減するためにサービス内容の変更を話し合う会議を開いているときのことでした。

「自分のことを話し合っているのに自分がいないのはおかしい。会議に参加したい」とAさんが不意にその場に入ってきた。 「毎日自宅で過ごしたい、歩けるようになりたい。できればもう一度車を運転したい。」と涙ながらに訴えるAさん。その姿に私は利用者を蔑ろにしていたことにバツとし、本当に恥ずかしい思いになりました。私たちがしようとしていたのはAさんに結果を受け入れてもらう「説得」を前提とした会議でした。



「納得」には、本人も関わる人も思いを伝えあい、お互いに理解していくことが必要です。Aさんも奥様も「納得」した上で、毎日のケアを受けていただくことが大切であると改めて気づくことができました。その後、ショートステイは中止し、訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護のサービスで毎日の生活を支えて1年が経ちます。「この生活はどうですか？」の問いにAさん、奥さんともに「満足しています。」と笑って答えられました。

vol.34

# 「サンビレッジの仲間たち」

## 子育てと仕事の両立

サンビレッジジフーズ 管理栄養士 山田莉佳子

入社当初から管理栄養士として利用者の方の栄養管理や厨房業務をしていましたが、2年前に産休、育休を取得し、復帰後はサンビレッジジフーズの配食の窓口を担当することとなりました。子供を保育所に預けて働くことと、復帰と異動が重なり不安もありましたが、復帰できる職場があることに安心感もありました。いざ復帰すると、

子供の体調不良等で度々職場の方に迷惑をかけることもありましたが、みなさんの理解もあり、休みの間は業務のフォローもしてもらえました。また、短時間勤務で仕事ができるため、仕事と家事が両立しやすいこともあり、徐々に新しい環境にも慣れ、調理員、配達員、利用者の方ともコミュニケーションが取れるようになりました。

配食サービスを利用される方は、独居や高齢世帯の方が多く、利用していくうちにその他の介護サービスに繋がるケースもあるため、今後も管理栄養士としての資格も生かしながら、仕事に携わっていきたいです。サンビレッジには子育てと仕事を両立させながら、働いている先輩ママもたくさんおられるので、私もその仲間に入れるよう頑張っていきます。



配食弁当の確認中





# トピックス



**おおがき**  
 コロナ禍で活動制限がある中、「ふまねっと」を用いて心身機能の維持向上に努めています。



# Family's Voice

## 「ご家族者の声」



3年前の母は股関節や脊柱の手術、発熱で病院や施設を転々としながら、絶食で点滴だけの入院生活、か弱い声で「腹が空く」と呟く姿……  
 寝台タクシーで1時間以上かけてシテイタワーアンキーへ。何とこの日からゼリーに挑戦し、間もなく、大好きなコロック、マグロ寿司、鮎の塩焼きを丸かじり、口は達者で、元氣な母の姿(98歳)……感謝!



# ウクライナ支援



以前より親交のある指揮者小林研一郎氏が率いる社会貢献目的としたオーケストラ、コバケンとその仲間たち「オーケストラ」が「ウクライナ応援コンサート」を開催したことを受けて、私たちも離れていてもすぐに行えることとして、ウクライナ支援金を募りました。  
 みなさまからの支援金は、「コバケン」とその仲間たち「オーケストラ」より、ウクライナの人々に届けました。ウクライナの人たちに平和と笑顔を……

# ひろとり



昨年4月から始めた園芸リハビリ。早いもので1年を迎えます。屈んだりしなくても畑作業ができるプランターを活用し、色々な野菜を育てる事ができました。収穫した野菜は皆さんで調理して昼食時やティータイムで召し上がっています。新しい野菜やお花も植え、これからも成長が楽しみです。

# みずほ



## 出張手毬寿司

目の前で握りのパフォーマンスを見られご利用者の目がキラキラ輝き、元寿司職人で何十年も活躍されていたご利用者は後輩の握りを見るように真剣な顔つきで握り方をレクチャーして下さいました。「美味しい」「また食べたい」と絶賛で楽しい時間を過ごしました。

# 機関紙新メンバー



今年度より機関紙の一員に加えて頂きました。機関紙を通し新生会の取り組みや、入居者の方の暮らしをお届けします。  
 スズラン棟リーダー 三摩要介



学生の様子や雰囲気など“サンビ校の今”を、読者の皆さんに発信していきますのでよろしくお願ひします。  
 言語聴覚学科教員 森 晃雄

## 新生苑 障がい体験

4月に入職し新生苑に配属された職員が、障がい体験をしました。この障がい体験は、新生会に入職すると必ず皆さんに体験してもらいます。体験を通して、相手の立場になって考えることや、利用者さんのためにどのような支援ができるかを学びます。

## 校舎のない学校 コストコマルシェ

毎月第2土曜日の13時~15時に池野駅「霞浜舎」にて買い物支援「コストコマルシェ」を行っています。会員制で大量購入でお値打ちなコストコ商品を、小分に販売しています。予約注文も受け付け、徐々に常連の方も増えました。孫にお土産を・多世代の方が集っています。

## ぎふ 展示ギャラリー 山の写真展

岐阜シテイタワー 43 3階 サンサン広場 展示ギャラリー  
 サンサントウ職員が撮影した山の風景写真が展示されています。是非ご覧ください。